

## 第74回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：平成30年11月22日（木） 10：30－11：30
2. 場所：内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室
3. 出席者
  - (1) 委員  
葛西委員長、松井委員長代理、青木委員、遠藤委員、折木委員、松本委員、山崎委員
  - (2) 政府側  
内閣府宇宙開発戦略推進事務局 高田事務局長、行松審議官、須藤参事官、高倉参事官、滝澤参事官、森参事官、山口参事官
4. 議事要旨
  - (1) 宇宙基本計画工程表改訂について、宇宙開発戦略推進事務局より説明を行った。委員からは以下の様な意見があった。  
(以下、○委員からの意見、質問、●事務局からの回答)
    - 準天頂衛星の衛星安否確認システムについて、2021年度に20都道府県への導入を進めていくとのことだが、他の都道府県や市区町村への展開などはどのように考えているか。
    - 今年度は、試行的運用を5都道府県で行うことを予定している。なお、「20都道府県」という数値目標は、G空間基本計画で定められたマイルストーンである。まずは、本マイルストーンの達成に向けて、しっかり取り組み、引き続き、より多くの都道府県や市区町村に利用していただき、普及を図っていきたいと考えている。
    - 宇宙交通管制「STM」について、今後の進展はどのようになっているか。
    - STMについては、まだ勉強が必要な段階という認識。米国などの動きも調査しながら、引き続き、検討していきたい。
    - 国際宇宙探査については、米国との連携は当然必要だが、米国以外にも欧州などとの連携も視野に入れて、今後、検討を進めていただきたい。
    - フロントローディングという考え方は重要なことだが、より分かりやすい表現を工夫してほしい。

以上